公開・非公開の別	■公　開　□部分公開 □非公開

令和８年度第３回浜松市介護保険運営協議会　会議録

１　開 催 日 時　令和８年１０月５日（月）午後７時から午後８時３０分まで

２　開 催 場 所　浜松市役所　北館１０１・１０２会議室

３　出 席 状 況

（１）浜松市介護保険運営協議会委員（５０音順）

出　席　１０名　安藤雅文委員　磯部智明委員　小野宏志委員
北村庄吾委員　清水茂人委員　鈴木謙市委員
野村吉秀委員　森下晃司委員　山田紀代美委員
弓桁智浩委員

（２）事 務 局

介護保険課　谷口弘記課長　近藤朋子課長補佐　大井珠子技監
齋藤正純主幹　渥美広気副主幹　伊藤宏樹副主幹
小澤隆史副主幹
福祉総務課　竹村和枝医療・介護連携担当課長
高齢者福祉課　亀田岳史次長兼課長　大石尚課長補佐

４　傍　聴　者　１名

５　議 事 内 容

（１）はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について
（２）第 10 期介護保険事業計画に係る施設整備計画について②
（サービス見込み量及び整備施設種別）

６　会議録作成者　介護保険課　総務給付グループ　袴田

７　記 録 の 方 法　発言者の要点記録
録音の有無　有・無

８　会 議 記 録

１　開会

２　議事

（１）はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について

（会長）

議事１点目「はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について」について、事務局から説明願いたい。

＜事務局から資料１について説明＞

（会長）

ただいま事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等があれば発言を願いたい。

（Ａ委員）

災害時避難行動要支援者名簿について、老人ホーム入所者や家族と暮らしている人が名簿に載っている一方、一人暮らしの高齢者が未掲載など、運用が統一されていない。災害が起きた際、名簿に未掲載の人の支援体制が不明確なため、わかりやすく記載してほしい。

（事務局）

プランには高齢者福祉、介護保険の方向性を記載するため個別避難計画の詳細を記載できないが、意見は来年度以降の参考とする。

（Ｂ委員）

プラン内のコラムが見てほしいポイントになると思うが、今後さらに作り込みをする予定か。

（事務局）

多くの方々に特に着目してほしい内容を抽出し、わかりやすい言葉で工夫して記載したい。

（Ｂ委員）

ＡＣＰに関して、人生会議手帳の周知促進のため、コラムにはＱＲコードを掲載するなど、アクセスしやすくしてほしい。

（事務局）
ＱＲコード活用は前回計画策定時にご指摘いただき導入したため、引き続き活用したい。

（Ｃ委員）
中山間地域の課題解決に向けた姿勢をプランに反映してほしい。

（事務局）
中山間地域の状況を認識しており、方向性についての記載を検討する。

（Ｄ委員）
事前資料にあった「在宅医療提供体制に求められる医療機能」の図が削除されたのはなぜか。多職種で取り組むべきＩＣＴ・介護人材確保の内容を示す重要な図のため、見やすい形での掲載をお願いしたい。

（事務局）
資料作成中のため現在は空白だが、読みやすい形で同様の資料を掲載予定である。

（Ｅ委員）
法改正「有料老人ホーム制度の見直し」による影響について、分かる範囲で概要の説明をお願いしたい。

（事務局）
介護付と住宅型の 2 種類がある有料老人ホームのうち、住宅型に登録制度を設けることで、介護保険事業者指定に近い基準が適用される。今後、国の動向に基づき進める予定である。

（Ｆ委員）
認知症ピアサポーターの養成者数を教えてほしい。

（事務局）
現在の養成者数は、データが手元にないため次回提示する。

（Ｆ委員）
さらに今後養成者を増やすことを検討しているのか。

（事務局）
基本的には認知症の方が住み慣れた町で生活できるよう、ピアサポーター活動の輪を広げていくために取り組んでいく。

（Ｆ委員）
当事者がサポーターになるということか。

（事務局）
当事者とその周囲の人がピアサポーターとなり、社会全体で共生しながら取り組むと考える。

（Ｆ委員）
当事者と健常者がサポーターになるのは少し意味合いが異なるため、整理した方が良いと考える。

（事務局）
意見をもとに検討する。

（会長）
この案件については聞き置くこととする。

（２）第 10 期介護保険事業計画に係る施設整備計画について②
（サービス見込み量及び整備施設種別）について

（会長）
次に、「第 10 期介護保険事業計画に係る施設整備計画について②（サービス見込み量及び整備施設種別）」について事務局から説明願いたい。

＜事務局から資料２について説明＞

（会長）
ただいま事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等があれば発言を願いたい。

（Ｄ委員）
住宅型有料老人ホームでの入居者囲い込みが介護保険料を上昇させるという説明があったが、医療依存度の高い入居者の囲い込みは介護保険だけでなく医療保険の訪問看護なども利用しており、後期高齢者や国民健康保険の医療費増加にも影響していることを認識してほしい。

（G委員）
サービス利用料の算出は人口推移や高齢化率に基づいていると考えるが、高齢者の経済状況の変化がサービス選択に大きく影響すると考える。例えば特別養護老人ホームの従来型とユニット型の選択差や、地域密着型の待機者激減の状況など、高齢者の経済状況を将来推計に反映させることでより現実的な見込値になる。

（事務局）
分析の参考にさせていただく。

（H委員）
特別養護老人ホームは、医療依存度や施設料金により待機者が集中することがある。計画上の数字と現場の実質的なギャップに目を向けながら計画を進めてほしい。

（C委員）
特別養護老人ホームの整備に必要な大規模修繕と改築に多大な費用がかかると思うが、整備計画の状況を聞きたい。

（事務局）
既存の改築補助制度の応募が少なかったため修繕を補助対象に追加し、応募が増えている。施設側は補助を活用して、コストの低い修繕を中心に対応していくと認識している。

（会長）
この案件については聞き置くこととする。

3　その他

（事務局）
会議録については、作成次第送付させていただくので、確認をお願いしたい。次回の会議については、１１月４日（水曜日）１９時からを予定している。詳細については、改めて連絡させていただくこととする。

4　閉会